

事業シート（概要説明書）

予算事業名	帆船海王丸保存活用等事業（公開事業・錬成事業分）		事業開始年度	1990年度		
上位施策事業名			担当局・部名	土木部		
根拠法令等			担当課・係名	港湾課業務係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	中田課長補佐		
実施の背景	<p>海王丸は、昭和5年（1930年）に進水して以来、日本の船員教育・船員養成を担う練習帆船として、59年間で106万海里（地球約50周）を航海し、11,190名もの船舶職員を育てた。また、「海の貴婦人」と称される美しい姿で、見る人の心を掴み、愛され、親しまれ、平成元年に現役を引退した。現役引退が決まった海王丸を誘致し、富山県のシンボルとするべく、昭和58年に新湊市（現射水市）、経済団体、観光協会など46団体から構成される「海王丸を富山に呼ぶ県民の会」が設立され、国・県への要望や協力依頼、県民への周知など様々な活動を行った。</p> <p>県においても、昭和62年に海王丸の誘致を県のプロジェクトとして位置づけ、伏木富山港の新湊地区に海王丸を誘致し、海王丸を核とした環日本海交流拠点「海王丸パーク」の整備を行った。</p> <p>現在、海王丸パークは、海・港・自然を学べる海浜公園として親しまれ、県内有数の観光地となっており、特に海王丸の帆（29枚）を全て張る総帆展帆は、海王丸パークの賑わい創出に大きく貢献している。</p> <p>また、海王丸は、現役当時の姿のまま、海王丸パークのシンボルとして、観光施設、海洋教室等の青少年錬成の場として活用しており、これまで延べ222万人が乗船している。</p>					
目的 （何のために）	海王丸を活用し、青少年の海への関心を高めるとともに、海王丸パークの賑わいを創出する。					
事業概要	対象 （誰・何を対象に）	（公財）伏木富山港・海王丸財団			対象者数（全住民に対する割合）	
		1	団体	（ — % ）		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施（直営） <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者： ） <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔直接〕（補助先：（公財）伏木富山港・海王丸財団 実施主体：同左） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	事業内容 （手段、手法など）	事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標		
		帆船海王丸保存活用等事業費補助金	4,986 千円			
関連事業 （同一目的事業等）	なし					
コスト	事業費	2023 年度（予算）	2022 年度（決算見込）	2021 年度（決算）	2020 年度（決算）	
		事業費合計	4,986 千円	4,986 千円	6,310 千円	4,416 千円
	事業費内訳 （2022年度分）	帆船海王丸保存活用等事業費補助金 4,986千円				
	人件費	担当正職員	0.05 人 353.65 千円	0.05 人 368.9 千円	0.05 人 365 千円	0.05 人 363.8 千円
		臨時職員等	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円
		人件費合計	0.05 人 353.65 千円	0.05 人 369 千円	0.05 人 365 千円	0.05 人 363.8 千円
総事業費	5,340 千円	5,355 千円	6,675 千円	4,780 千円		
財源内訳	国補助金	2,493 千円	2,493 千円	3,155 千円	千円	
		国補助金の内容	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）			
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他の財源 （使用料、手数料など）	千円	千円	千円	千円	
		その他の財源の内容				
一般財源	2,847 千円	2,862 千円	3,520 千円	4,780 千円		
財源合計	5,340 千円	5,355 千円	6,675 千円	4,780 千円		

事業シート（概要説明書）

予算事業名		帆船海王丸保存活用等事業（公開事業・錬成事業分）			事業開始年度	1990年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		展帆ボランティア募集チラシ配布部数		1部	2,000/2,000	3,000/3,000	2000/2,000
		展帆ボランティア養成訓練実施回数		1回	6/6	6/6	実施せず ※コロナ対策
	総帆（縦帆）展帆実施回数		1回	11/10	6/10 （職員による実施）	1/10 （職員による実施）	
単位当たりコスト	チラシ作成費 養成訓練費 展帆実施費	/	チラシ作成部数 訓練実施回数 展帆実施回数	千円	0.01 45 257	0.01 34 123	0.01 — 569
成果目標 （指標設定理由等）	海王丸の展帆ボランティア参加者数、海洋教室参加者数、海王丸乗船者数、海王丸パーク入込数を成果目標とすることで、青少年の錬成や海王丸パークの賑わい創出に係る貢献度を把握できる。						
事業成果	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		展帆ボランティア養成訓練参加者数 （新規ボランティア登録者数）		1人	42/60	30/60	養成訓練 実施せず
		展帆ボランティア参加者数（展帆1回あたり）		1人	62/70	実施せず ※コロナ対策	実施せず ※コロナ対策
		海洋教室参加者数		1人	639/1,000	334/1,000	50/1,000
		海王丸パーク入込数		1人	853,600 /1,000,000	577,000 /1,000,000	563,500 /1,000,000
		海王丸乗船者数		1人	56,307 /100,000	31,940 /100,000	27,996 /100,000
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<p>公開事業のメインイベントである総帆展帆（29枚ある帆を上げる）の実施に当たっては、展帆ボランティアの協力が不可欠であるが、コロナ過によりボランティアの参加者数が減少し、29枚ある帆を全て広げるフルセイルに必要なボランティア（70人）の確保が難しかった。このため、令和4年度は、15～20枚程度の展帆に抑えることが多く、フルセイルを実施できたのは、11回中1回となっており、ボランティアの継続的な確保が課題となっている。</p> <p>ボランティアの募集・登録については、チラシの配布、財団のHPや県の新聞広報を活用しているところであるが、より多くの方に関心を持っていただくため、SNS（県Twitter、Instagramなど）を活用したPR方法を検討したい。</p> <p>また、登録いただいたボランティア（R5.3月末：762人）の方々に、継続してボランティアに参加していただけるよう、ボランティア表彰制度の周知や表彰基準の見直しを検討したい。</p>						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>帆船日本丸（※）の状況（R3年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総帆展帆実施回数：8回 ・海洋教室開催回数：19回 ・帆船日本丸及び横浜みなと博物館の入場者数：26,520人 ・日本丸メモリアルパーク利用者数：322,310人 <p>※海王丸と同時期に建造・運航され、現在、横浜市の日本丸メモリアルパークに係留されている。</p>						
特記事項	<p>【2023年度スケジュール】</p> <p>○総帆展帆（全10回） 4/30（日）、5/6（土）、5/28（日）、6/11（日）、7/17（月・祝）、8/20（日）、9/9（土）、9/18（月・祝）、10/15（日）、11/3（金・祝）</p> <p>○ボランティア養成訓練（全6回） 第1回：5/13（土）・14（日）、第2回：6/3（土）・4（日）、第3回：7/8（土）・9（日）、第4回：8/26（土）・27（日）、第5回：9/2（土）・3（日）、第6回：10/28（土）・29（日）</p>						

委託・指定管理・補助 対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	帆船海王丸保存活用等事業（公開事業・錬成事業分）		事業開始年度	1990年度
団体名	（公財）伏木富山港・海王丸財団			
団体への支出根拠 （選定経過等、支出先の妥当性）	海王丸を所有している（公財）伏木富山港・海王丸財団が、海王丸を活用し、海王丸パークの賑わい創出や海洋教室等の青少年の錬成に取り組む帆船海王丸公開等事業や青少年錬成等事業に対して補助を行うもの。			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	公開事業	8,670 千円
	県からの財政支出金	4,986 千円	・総帆展帆・ボランティア養成	4,698 千円
	市町村からの財政支出金	3,324 千円	・イベント開催	3,077 千円
	委託料・指定管理料	千円	・事務費・消耗品	895 千円
	補助金	3,324 千円	錬成事業	850 千円
	その他	千円	・海洋教室実施	689 千円
	その他（自己資金）	1,210 千円	・絵画コンクール開催	161 千円
総計	9,520 千円	総計	9,520 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	【組織】会長－常務理事（総務・海事）－事務局長－課長（総務・海事）－課員（総務課・海事課） (1)富山県の委託等を受けて実施する伏木富山港における港湾施設等の管理運営 （海王丸パーク、海王バードパーク、新湊マリーナなどの施設） (2)帆船海王丸の保存及び公開（維持修繕、総帆展帆の実施、ボランティアの養成など） (3)帆船海王丸等を活用した青少年の錬成及び海事思想の普及（海洋教室の実施など） (4)日本海交流センターの設置及び運営 (5)伏木富山港における港湾・海洋環境を活用したイベント等の実施 (6)その他本財団の目的を達成するために必要な事業									
	資本金	42,000 千円	役員 職員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	県出資金	25,000 千円		役員	2	0/1	9		2	
	出資比率	59.5 %		職員	16	8/0	8			
団体全体の収支状況	収入		支出							
	国からの財政支出金	千円	事業費	216,969 千円						
	県からの財政支出金	101,476 千円	管理費	4,309 千円						
	市町村からの財政支出金	49,219 千円	人件費	91,586 千円						
	委託料・指定管理料	千円	その他（ ）	0 千円						
	補助金	49,219 千円	総計	312,864 千円						
	その他	千円								
その他（海王丸乗船料収入、基金運用益等）	163,476 千円									
総計	314,171 千円	収支差	1,307 千円							
特記事項	負債総額:37,510,328円 資本総額:806,078,053円 利益剰余金(もしくは欠損金):37,581,864円									
財務諸表URL	http://www.kaiwomaru.jp/									

補足資料一覧

1. 海王丸ボランティア募集チラシ [補足資料 1](#)
2. 帆船海王丸について（概要、海王丸・海王丸パークの歴史） [補足資料 2](#)
3. 帆船海王丸乗船者数、海王丸パーク来園者数、富山県観光地等入込数ランキングの推移 [補足資料 3](#)
4. 総帆展帆・海洋教室・カッター教室写真 [補足資料 4](#)

海王丸ボランティア募集 募集要綱

航海士や乗組員が丁寧に指導します！

海王丸ボランティアとは

てんばん
展帆
ボランティア

毎年4~11月初旬の間に約10回開催される海王丸の「総帆展帆」(=29枚すべての帆をひらく)で、操帆作業に参加できるボランティアです。

※ボランティア登録のために養成訓練への参加が必要です。

こうばん
甲板
ボランティア

真鍮磨きや帆の製作など、海王丸の保存作業に参加できるボランティアです。また、船内のボランティアガイドもこれに含まれます。



高所作業・健康状態に関して

海王丸ボランティアは高所での作業を含むため、ボランティア登録の際には必ず健康状態の確認を行います。養成講座終了後の登録手続きにて、簡単な身体測定および健康状態調査にご協力いただきます(所要時間10~15分程度)。

特典1

海王丸フリーパス!
海王丸乗船料
が無料に!

特典2

体ひとつで参加!
作業服・安全帽
などを貸与!

特典3

スペシャルイベント!
各種行事に
参加!

特典4

自分の名を刻む!
船内に名札設置。
表彰制度も!

総帆展帆の流れ

4~11月の間に10回実施。集合・ミーティング後、1時間30分ほどかけて帆を開き、3時間程度展示した後、約1時間で帆を畳みます。当日の飛び入り参加や都合のよい時間だけの参加も可能です。※要ボランティア登録

当日の流れ(例)	
9:00~10:00	受付
10:00~10:30	ミーティング
10:30~11:30	①展帆作業
11:30~14:00	②畳帆作業
14:00~15:00	

※時期や人数によって変動します

①展帆作業



②畳帆作業



展帆ボランティア養成訓練について

総帆展帆をする展帆ボランティアに登録するためには、初心者講習である「展帆ボランティア養成訓練」の受講(2日間)が必要です。毎年4~5回実施しており、年によって時期が異なりますので、財団WEBやSNSなどでご確認ください。

1日目 (9:00~17:00)	2日目 (8:30~17:00)
<ul style="list-style-type: none"> 帆船の構造、マストやセイルの名称 ギア(ロープ)取扱説明 操帆号令について 登槽作業・高所作業について 	<ul style="list-style-type: none"> 登槽訓練② (2時間45分)
<p>休憩・昼食</p>	<p>休憩・昼食</p>
<ul style="list-style-type: none"> ふら下がリテスト 高所作業用安全帯の取扱説明 登槽訓練① 	<ul style="list-style-type: none"> 登槽訓練③ ギア取扱訓練 操帆訓練
<p>休憩・昼食</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入会票記入 総帆展帆の要領・流れ説明 作業服などの採寸



私たちが教えます!!

1日目訓練終了後 海王丸内で無料宿泊体験ができます!
希望者のみ 夕食、朝食、入浴つき 無料カレーも!

船長をはじめ、航海士、甲板部職員ら現場経験をもったスタッフが、一人ひとりに合わせて、ていねいに指導いたします。



海の貴婦人

かいおうまる
帆船海王丸

海王丸は、商船学校の練習船として誕生した帆船です。昭和5年(1930年)2月14日に進水して以来、59年間に106万海里(地球約50周)を航海し11,190名もの海の若人を育てました。「海の貴婦人」として親しまれた海王丸は1989年に引退。海王丸パークでは、1990年から、現役当時の姿のまま公開しています。

帆船海王丸MEMO

進水	昭和5年2月14日
船種	4本マストバーク型帆船
総トン数	2,238.40トン
定員	168名
全長	97.05m
型幅	12.95m
メインマスト	46m(海面からの高さ)
総帆数	29枚・面積2,050㎡・約1,245畳分



応募のしかた

応募資格 15歳以上の健康な方(未成年者は親権者の承諾が必要)

申込方法

- 方法1 専用フォームから申し込み
右のQRコードから入力フォームに入力・送信
- 方法2 申込書を郵送で申し込み
公式WEBから必要書類をダウンロードし記入後、郵送
- 方法3 直接来場して申し込み
海王丸パークに直接来場し、申込書に記入・提出

お問い合わせ・お申し込み先

公益財団法人
伏木富山港・海王丸財団(担当:海事課)

〒934-0023 富山県射水市海王町8番地
TEL 0766-82-5181 FAX 0766-82-5197

<http://www.kaiwomaru.jp/>

f kaiwomarupark @kaiwomaru_park

お申し込み
専用フォーム



帆船海王丸について

■概要

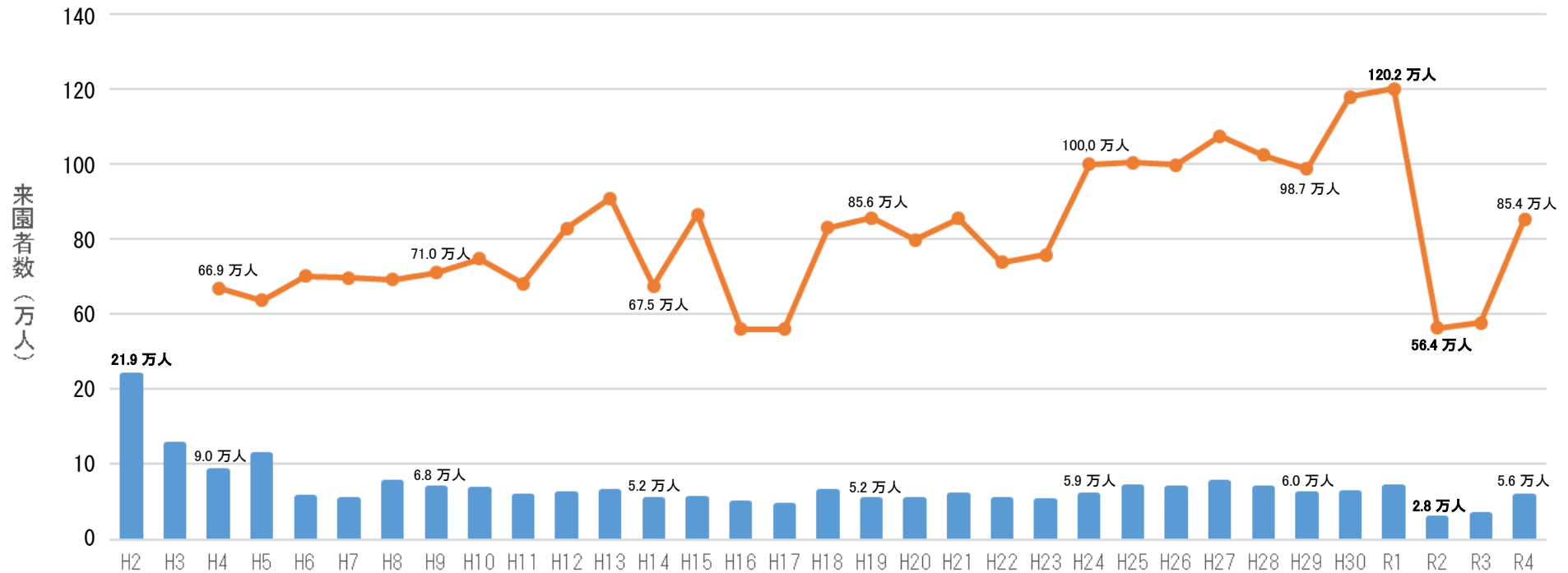
船種	4本マストバーク型帆船	定員	168名
総トン数	2,238.40トン	全長	97.05m
総帆数	29枚(2,050㎡※) ※約1,245畳	型幅	12.95m
		メインマスト	46m(海面からの高さ)

■海王丸・海王丸パークの歴史

昭和5年	2月14日	神戸・川崎造船所で進水
昭和58年	6月6日	「海王丸を富山に呼ぶ県民の会」設立
昭和62年	12月1日	富山県知事、富山県議会議長、新湊市長、新湊市議会議長、海王丸を富山に呼ぶ県民の会会長らが、運輸大臣ほか関係機関へ海王丸誘致を要望
	12月25日	富山県が「練習帆船海王丸保存活用基本計画書」を運輸大臣に提出
平成元年	2月10日	富山県知事、大阪市長連名で海王丸の私下要望書を運輸大臣に提出
	3月28日	運輸省が「練習帆船海王丸の保存及び有効利用に関する懇談会」を開催し、懇談会報告に基づき、海王丸を払い下げる方針を決定
	6月～8月	帆船海王丸最後の遠洋航海
	8月21日	富山県と大阪市が共同で出資した財団法人帆船海王丸記念財団設立
	9月16日	用途廃止(現役引退)
	9月18日	海王丸、財団法人帆船海王丸記念財団へ払い下げ
平成2年	3月	財団法人伏木富山港振興財団設立
	4月28日	富山新港北埠頭で一般公開開始
平成4年	7月5日	海王丸パークと日本海交流センターが完成、海王丸パークにおける一般公開開始
平成6年	3月7日	海王丸パークでの恒久係留が決定
平成14年	7月1日	財団法人帆船海王丸記念財団と財団法人伏木富山港振興財団を統合し、財団法人伏木富山港・海王丸財団設立
平成15年	10月	新旧海王丸による総帆展帆実施
平成18年	7月	新旧海王丸による総帆展帆実施
平成24年	4月	財団法人伏木富山港・海王丸財団から公益財団法人伏木富山港・海王丸財団へ移行
	8月	新旧海王丸による総帆展帆実施
平成25年	1月	海王丸パークが「恋人の聖地」に選定
平成26年	10月	富山湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟、海王丸パーク内に記念モニュメント設置
平成27年	8月	新旧海王丸による総帆展帆実施、大成丸も参加したトリプル公開
	10月	「第35回全国豊かな海づくり大会～富山大会～」のイベントを海王丸パークで開催
平成30年	2月14日	海王丸が進水から八十八歳(米寿)にあたることから乗船者に富山米の新ブランド「富富富」プレゼント
	4月11日	富山新港開港50周年を記念し、海王丸パーク北側緑地に展望広場オープン
	7月20日	海王丸が「ふね遺産」に認定
	8月12日	一般公開からの累計乗船者数が200万人を突破
	12月	ホームページで海王丸船内の3DとVR映像を公開
平成31年/ 令和元年	4月26日	海王丸パーク内に「TOYAMA Free Wi-Fi」整備
	5月23日	海王丸パーク緑のパーゴラ中央休憩所がリニューアル
	10月19日	「世界で最も美しい湾クラブ世界総会in富山」のイベントを海王丸パーク内で開催
令和2年	8月10日	帆船海王丸一般公開30周年記念式典を海王丸パーク内で開催
令和4年	6月12日	海王丸パーク開園30周年・新湊大橋開通10周年記念式典を海王丸パーク内で開催

1. 帆船海王丸乗船者数及び海王丸パーク来園者数

■ 海王丸乗船者数 ● パーク来園者数



H2 海王丸一般公開開始

H4 海王丸パーク開園

H5 海王丸恒久係留決定

H15 新旧海王丸による総帆展帆実施

H18 新旧海王丸による総帆展帆実施

H24 新旧海王丸による総帆展帆実施・新湊大橋開通・海王丸パークが恋人の聖地に選定(①)

H27 新旧海王丸及び大成丸のトリプル公開実施(②)・
 全国豊かな海づくり大会のイベントを開催
 富山湾が世界で最も美しい湾クラブに加盟(海王丸パークに記念モニュメント設置)・北陸新幹線開業

H30 緑のパゴラ中央休憩所リニューアル(④)・
 世界で最も美しい湾クラブ世界総会)のイベントを開催
 展望広場オープン(③)・海王丸が「ふね遺産」に認定・
 ホームページで海王丸船内の3DとVR映像を公開

R1 海王丸一般公開30周年記念式典を開催(⑤)

R4 海王丸パーク開園30周年・新湊大橋開通10周年記念式典を開催



2. 富山県観光地等入込数ランキング（H29年～R3年）

出典：「富山県観光客入込数等」

R3		
順位	名称	入込数
1	道の駅福光	1,196,268人
2	富岩運河環水公園	1,169,000人
3	高岡古城公園	654,500人
4	氷見漁港場外市場ひみ番屋街	653,300人
5	海王丸パーク	595,000人
R2		
順位	名称	入込数
1	道の駅福光	1,201,611人
2	富岩運河環水公園	1,073,000人
3	高岡古城公園	735,000人
4	氷見漁港場外市場ひみ番屋街	682,100人
5	海王丸パーク	590,900人
R1		
順位	名称	入込数
1	富岩運河環水公園	1,662,000人
2	氷見漁港場外市場ひみ番屋街	1,224,700人
3	海王丸パーク	1,189,400人
4	道の駅福光	1,117,729人
5	立山黒部アルペンルート	882,872人

H30		
順位	名称	入込数
1	富岩運河環水公園	2,256,000人
2	氷見漁港場外市場ひみ番屋街	1,205,700人
3	道の駅福光	1,112,324人
4	海王丸パーク	1,103,000人
5	立山黒部アルペンルート	980,809人
H29		
順位	名称	入込数
1	富岩運河環水公園	2,515,152人
2	氷見漁港場外市場ひみ番屋街	1,184,000人
3	道の駅福光	1,095,339人
4	海王丸パーク	1,006,700人
5	立山黒部アルペンルート	929,051人

総帆展帆時の海王丸



ボランティアによる展帆作業の様子



海洋教室の様子（手旗訓練）



カッター教室の様子（オールを使用して漕ぐ練習）

